

## 活動紹介票

	団体名	特定非営利活動法人wiz	代表者 職・氏名	代表理事 中野圭
住所	岩手県大船渡市三陸町越喜来字明神道24-2		電話	090-1931-5683

## 事業内容

助成区分		復興枠
事業名称		被災地事業者等の事業・活動推進、組織基盤強化のための伴走型コーディネート
主な活動地域		岩手県大船渡市、陸前高田市、宮古市、山田町
取組概要	目的	被災地の復興に向けて事業・活動を実施する企業・団体(以下、事業者等)において、担い手や活動資金の不足、さらにそれらを解消する知見・ノウハウの不足といった課題を複合的に解決するとともに、意欲的な外部人材との交流を通じ、長期的な関係人口の創出と、地域住民が地域や自社・自団体にさらなる愛着・誇りを感じる機会を創出することを目的として本事業を実施する。
	内容	被災地の事業者等が事業・活動の推進及び課題解決を行うための不足リソースを明確にしたうえで、ニーズに合わせて以下の2つの取組、3つのコーディネートを複合的、伴走的に実施した。 ●取組①: 外部人材のコーディネートによる被災地事業者毎の事業推進及び課題解決 被災地の事業者等が事業の推進及び課題解決を行うために必要な人的リソースとして外部人材をコーディネートした。事業者毎のニーズに合わせて、実践型インターンシップ、副業、または双方を提案し、課題の深堀り、プログラム作成及び周知・PR活動、マッチングサポート、活動開始後のマネジメントサポート等を行った。 ・コーディネート①: 実践型インターンシップ ＜夏期プログラム＞ 7月～8月: プログラム作成、周知・PR活動、マッチングサポート 8月～9月: 実践型インターンシップ実施(4事業者、大学生7名が参画) 10月: 事業者等との振り返り ＜春期プログラム＞ 10月～11月: プログラム作成 11月～1月: 周知・PR活動、マッチングサポート 2月～3月: 実践型インターンシップ実施(事業者等8社、大学生18名が参画) 3月: 事業者等との振り返り  ・コーディネート②: 副業のコーディネート 事業者等にとって緊急度または重要度が高い取組、課題がある場合、スキル・経験を生かして副業として取り組む外部人材(主に被災地では不足しているスキル・経験を持つ社会人)をコーディネートした。 年間を通じて事業者等への事業説明及び案件形成を行い、随時、副業希望人材へ案件を周知、人材からの問い合わせに応じて個別面談による案件内容の説明を行い、マッチングサポート及びマッチング後の伴走支援を行った。  ●取組②: 専門家による事業者等の資金調達、組織運営基盤強化支援 ・コーディネート③: 土業専門家やIT・Webの専門家によるオンライン相談 新たに事業・活動を実施するための資金調達支援、及び事業者毎の専門的なニーズに合わせて、土業専門家やIT・Webの専門家によるオンライン相談を実施した。 年間を通じて事業者等からニーズをヒアリングし、6事業者に対して10件の相談対応を実施した。
	成果 (将来計画)	＜アウトプット＞ コーディネート①実践型インターンシップ: 年間のべ12事業者で募集し、25名の学生が参画した。 コーディネート②副業のコーディネート: 4事業者で募集し、内2事業者に3名の社会人が副業を実施した。 コーディネート③土業・専門家とのオンライン相談: 6事業者に対して10件の相談対応を実施した。  ＜アウトカム＞ ・上記3つのコーディネートを通じて事業者の課題解決に繋がっただけでなく、特に実践型インターンシップにおいては、現地活動中に従業員がインターン生に作業を指導したり、地域住民がインターン生の滞在先に食材を届けてくれたりなど、インターン生との交流が積極的に行われ、域外から訪れた学生の被災地域・復興への理解が進むとともに、地域側にとっては自社・自地域の魅力の再発見に繋がった。 ・被災地域事業者において人材確保・定着は喫緊の課題である。雇用に限らずに、課題や業務を切り出し、案件に応じて、またオンラインも活用して外部人材と協働する知見、ノウハウが得られたことで、中長期的な復興に向けた事業・活動の維持・拡大に取り組む土台ができた。 ・副業及び土業・専門家のコーディネートを通じて、これまで当法人が行ってきた実践型インターンシップだけでは対応できていなかった事業者の経営課題等を顕在化することができた。被災者でもある従業員を雇用しやりがいを創出する上で、経営基盤の強化は不可欠である。多様なニーズを発掘し、対応する支援が求められていることがわかった。
事業費(千円)		5,524千円(うち補助金4,971千円)

